

## 第 1 1 節 関連団体

### 1 財団法人大牟田市雇用開発センター

#### (1) 雇用開発センターの概要

##### <設 立>

法人格	財団法人
基本金	1千万円（大牟田市）
設立許可	昭和59年10月9日(10月14日登記) (昭和57年1月29日任意団体設立)
所在地	大牟田市北磯町81番地2

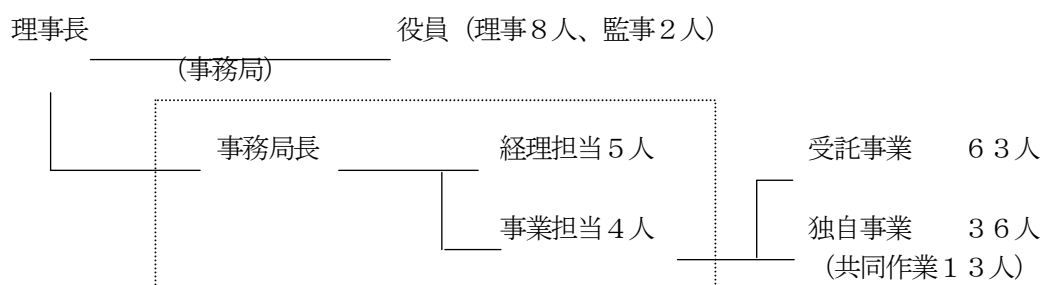
##### <目 的>

市内に居住する高齢者、障害のある人及び母子家庭（以下「高齢者等」という。）に対する雇用の開発と促進を図るとともに、公共施設管理の受託事業等を行うことにより市民の生活安定とコミュニティー活動を促進し、地域の活性化と福祉の向上に寄与する。

##### <事業内容>

- (1) 高齢者等に適した仕事に関する情報活動及び調査研究に関すること。
- (2) 大牟田市障害者等文化体育施設サン・アビリティーズおおむた、その他公共施設の管理運営の受託、及び当該施設の利用増進に関すること。
- (3) 高齢者等に対する生涯教育、能力開発、研修及び生きがい対策に関すること。
- (4) その他目的を達成するために必要な事業。

##### <機 構>（平成19年3月31日現在）



## (2) 受託事業

### 1) 施設管理等と雇用実績

(単位：人)

受託事業	雇 用 人 員					備 考
	17年度 採用者	17年度 在職者	18年度 採用者	18年度 在職者	内改善特 開該当員	
夜間警備	10	11	10	10	(8)	学校…6校(8人) 保健所(1人) 母子生活支援施設(1人)
夜間管理	7	30	4	28	—	学校…28校(28人) (学校1校減、動物園減)
駐 車 場 管 理	5	5	5	5	(5)	市立病院(3人) 体育館(2人)
施設管理 清 掃	9	10	9	10	(8)	老人福祉センター(2人) 葬斎場(2人) 文化会館(6人)
施設運営 管 理	1	5	3	5	—	サン・アビリティーズ(4人) 労働福祉会館(1人)
マイクロ バス運転	1	3	1	3	—	養護学校の児童生徒送迎 老人福祉センターの利用者送迎
体育施設 整 備	2	2	2	2	(2)	記念グラウンド等
計	35	66	34	63	(23)	

### 2) 高齢者生きがい創造センター管理運営

高齢者がもつ技能や経験を生かしながら、働く機会を提供するとともに健康増進及び地域社会との交流を図り、生きがい活動を推進している。

#### ①おもちゃ病院

おもちゃ病院は高齢者の蓄積した技術と経験を生かし、子どもとふれあうことで高齢者の生きがいを高める。

一方、子どもたちは、おもちゃの構造を知ること、科学心、創造力を養い、物の大切さを知ってもらうことを目的に実施している。

医師は、市民ボランティア3名及びリサイクル作業所就労者3名の計6名が従事し、毎週水曜日午後1時30分から4時まで開院している。また、より親しまれるように、子供が休みの日にイベントなどに参加し、好評を得ている。

#### ②高齢者いきいき教室

高齢者(60歳以上の市内居住者)の生きがいづくりと健康維持を目的に、生涯学習の機会を提供し、生活に創造的な豊かさを生み出す活動の場として「いきいき教室」を開催した。

### 3) サン・アビリティーズおおむた(大牟田市障害者等文化体育施設)指定管理運営

#### <事業内容>

障害者等の文化活動やスポーツの振興及び健康の増進を図るとともに、障害者等の交流の場を提供する施設として設置し、大牟田市より管理運営を受託している。本年度は指定管理者として受託した。

#### <実 績>

・利用状況

年	内訳	総 数		うち障害のある人		障害のある人の率	
		件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数(%)	人数(%)
14		3,867	58,305	1,367	17,415	35.4	29.9
15		3,715	55,486	1,311	17,391	35.3	31.3
16		3,594	53,949	1,406	17,552	39.1	32.5
17		3,765	52,588	1,673	15,760	44.4	29.9
18		4,072	57,297	1,809	17,678	44.4	30.8

### ① 第28回ふれあいパラリンピック&サン・アビまつり(主催事業)

この事業は「大牟田市障害者長期行動計画」に基づき、スポーツ・文化活動をとおして障害のある人の自立と積極的な社会参加を図ることにより、福祉のまちづくりを進めるイベントとして開催してきた。

屋内では誰でも参加できるスポーツ遊技や演芸のほか、展示・体験コーナーでは、障害者が制作した陶芸品、児童の絵画や作品の展示に加え、おもちゃ病院も開院した。また、大牟田知的障害者育成会による「さをり織り」の展示と、体験コーナーを設けた。

初日の式典では従来のメダリストの表彰に加えて、知的障害(児)者のスポーツの祭典として開催されている「第25回ときめきスポーツ大会」参加者のメダリストの表彰も行った。

- ・開催日 平成18年11月4日(土)～5日(日)
- ・参加人員 延べ人数 10,000人(うち障害のある人5,500人)

### ②その他の主催事業

事業名	実施日	対象者	参加人数
第15回ふれあい卓球大会	4月23日	障害のある人、障害のない人	122(29)
ふれあいソフトバレー交流会	5月22日	サン・アビ利用サークル他	92(8)
教養講座(まちづくり勉強会)	5月28日	障害のある人	54(41)
第10回 バドミントンサークル交流会	7月9日	サン・アビ利用サークル他	48(5)
第15回ふれあい納涼祭	8月27日	身障連会員とその家族 地域住民他	500(200)
ふれあい軽スポーツ講座	9月2日～ 12月24日	障害のある人とその家族 障害のない人 手話の会	856(198)
第10回ふうせんバレー大会	10月8日	障害のある人 障害のない人	59(35)
第9回交流 インドア・アーチェリー大会	11月26日	障害のある人 障害のない人	32(14)
第12回お楽しみ レクリエーション大会	12月24日	身障連会員とその家族 地域住民他	118(53)
ふれあいモチつき大会	12月24日	身障連会員とその家族 地域住民他	118(53)
第15回ふれあい囲碁将棋大会	1月7日	障害のある人 障害のない人	62(20)
ふれあいカラオケ交流会	3月11日	サン・アビ利用カラオケサークル他	66(25)

※( )内は障害のある人の数

## ② 共催事業

事業名	実施日	対象者	参加人数
陶芸教室	9月18日	健康促進部会員	25(22)
サン・アビまつり反省会&みかん狩り	11月19日	健康促進部会員 その家族	40(32)
たこ作り・たこ揚げ大会	2月12日	健康促進部会員 小学生	40(25)
ふうせんバレー大会 (県障害者スポーツ協会)	2月25日	障害のある人 手話の会 障害のない人	91(35)

※ ( ) 内は障害のある人の数

## 4) サークル等の活動状況

・障害のある人のサークル

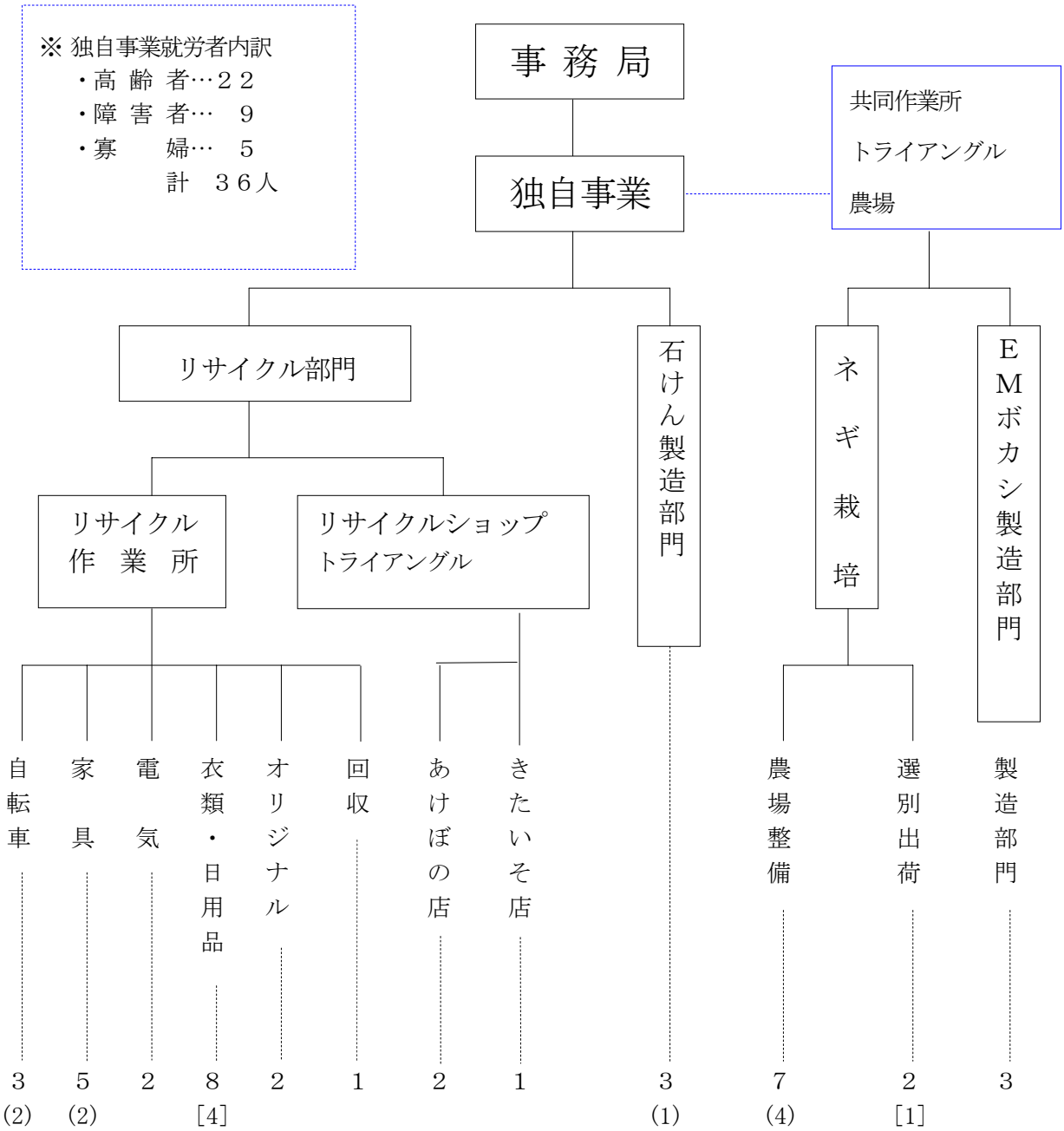
種目名	活動日	人員	うち障害のある人数	サークル数	構成
カラオケサークル	火水木金土	74	35	9	視力・肢体・知的
詩吟サークル	金	22	2	2	視力・肢体
ダンスサークル	火水土	50	12	4	視力・肢体
生け花教室	火	7	6	1	聴覚
舞踊サークル	金	8	1	1	視力
点字サークル	火	3	2	1	視力
筋トレ	水	12	7	2	視力・肢体
ボール遊び	火水	31	23	2	知的・肢体 (育成会・エンゼル)
アーチェリー	水	18	7	1	肢体・聴覚
車椅子バスケット	木	20	5	1	肢体
車椅子テニス	金	11	8	1	肢体・聴覚
卓球サークル	水土	23	13	2	肢体・聴覚
ソフトバレー	火木金	55	30	3	精神
ビーチバレー	水	48	37	2	精神
バドミントン	火木金	28	17	3	肢体・精神

・障害のない人のサークル

種目名	活動日	人員	サークル数	朝～昼	夕～夜
バドミントン	火木土日	113	9	8	1
ソフトバレー	火木金土	86	6	5	1
健康体操	火	9	1	1	
バトン	火	21	1		1
エアロビクス	土	28	1	1	
ダンス	火水木金	22	3	4	
ゲートボール	水	10	1		1
卓球	火	2	1	1	
ビーチバレー	木	18	1		1

(3) 独自事業

<機 構> (平成19年3月31日現在)



※ ( ) 内の数は障害者数、[ ] 内の数は寡婦の内数を示す。

## 1)リサイクル事業の実施

技術や技能を持つ高齢者、社会復帰訓練に励む障害のある人、不用品を無償提供していただく市民の協力により、リサイクル事業を実施している。

不用品の提供については、広報おおむた等により広く市民にPRを行っており、回収・配達・再生の作業も効率化を図っている。

また、平成13年4月1日施行電気用品安全法の経過措置が平成18年4月1日一部終了したことに伴い、取り扱う殆どの家電品が販売できなくなった。

このため、全家電品の提供受付を3月に停止したが、耐電圧測定装置の整備により、6月から提供受付を再開し、8月から販売も再開した。

愛のバザーやショップの売出し、十日市、廿日市へも出店するなど、販路の拡大、強化を図った。

平成元年9月21日に開設の直営店トライアングルショップかめたに店は、土地建物の賃借ができなくなったため平成19年3月で閉店した。また、委託店トライアングルショップ通町支店は、委託契約が2月末で終了した。

### <販売実績>

今年度は3回の主催バザーを開催したが、前年度に比べバザー等の売上は17.2%、ショップ売上で23.7%減少し、売上額全体では前年度に比べ21.8%の減少となった。

主催・協賛のリサイクルバザーは、30回(延べ31日)実施した。

## 2)不用品回収実績と来店者数

不用品回収総件数は、前年度に比べ398件、49.6%の減少となったが、ごみの有料化に伴う提供品の減少に加え、18年4月施行の電気用品安全法に対応して家電品提供受付を5月まで停止したことにより、回収実績は激減している。

来店者数は、直営ショップ3店舗及び「リサイクル愛のバザー」の入場者を含め、前年度に比べ3,268人、16.2%の減少となった。

### ・回収件数及び来店者数

	17年度	18年度	前年度比(%)
不要品回収総件数(件)	803	405	50.4
来店者総数(人)	20,224	16,956	83.8

## 3)石けん製造販売事業

石けんの製造は、高齢者2名、障害者1名で行っている。

製造実績では全体で2.2%減少したが、固形石けんとEM液体石けんはそれぞれ18.5%、20.7%の増加となった。

販売実績では、新たに旧・高田町の中学校学校給食からの注文で市外からの定期的な受注は増加したが、市内小中学校での受注の減少、直営ショップ、バザー・イベントでの売上の減少により、全体で2.0%の増加となった。

### ・製造実績

	17年度(Kg)	18年度(Kg)	前年度比(%)
粉石けん	11,443	11,118	97.2
液体石けん	5,147	4,992	97.0
固形石けん	454	538	118.5
EM液体石けん	92	111	120.7
合計	17,136	16,759	97.8

・販売実績

	17年度 (円)	18年度 (円)	前年度比 (%)
直営リサイクルショップ	451,850	443,320	98.1
バザー・イベント	33,150	30,060	90.7
学校給食・公共施設等	2,486,163	2,582,507	103.9
(財)有明環境整備公社	1,260,000	1,260,000	100
合 計	4,231,163	4,315,887	102.0

#### 4) EM関連販売事業

##### ① EMボカシ販売

生ゴミ用ボカシの販売事業は、家庭から出る生ゴミを良質な堆肥にするもので、使用方法については、直営3店舗、愛のバザーや廿日市等でのパンフレット配布等により啓発を行っている。

ボカシやEM関連商品の販売実績は、前年度に比べ10.7%減少している。

##### ② EM発酵液製造販売

EM発酵液は、家庭生活で水の浄化や消臭等、環境浄化に寄与するもので、発売4年目になるが、販売実績は、2リットル容器で245本、前年度に比べ34.1%減少している。

・販売実績

	17年度 (円)	18年度 (円)	前年度比 (%)
ボカシ	423,870	388,660	91.7
EM関連商品	2,155,920	1,926,357	89.3

・販売点数内訳

	17年度 (点)	18年度 (点)	前年度比 (%)
ボカシ	1,928	1,784	92.5
EM関連商品	1,501	1,361	90.7
※ボカシ専用バケツ	76	40	52.6
※EM発酵液	372	245	65.9

※ボカシ専用バケツ、EM発酵液は、EM関連商品の内数を示す。

#### (4) 就職支援能力開発特別訓練(リサイクル科)の実施

厚生労働省の「就職支援能力開発事業」に基づき、福岡県立大牟田高等技術専門校の委託を受け、次のとおり実施した。

- 訓練科目 自転車、家具、家電製品の再生、家屋リフォーム
- 訓練生 19期生 17人 (定員20人)
- 訓練期間 平成18年7月5日～12月12日 訓練時間 736時間

訓練生は、就職による繰上げ修了者2名を含み、全員が卒業した。17名の出席率は平均で94.2%と、昨年同様高い結果となった。

また、就職活動にも意欲的に取り組み、訓練に対しての関心の高さと、再就職への意欲を示すものと思われる。

訓練内容においては、各科目の反復訓練と複合訓練としての応用実技を充実し習熟度を高めた。

## 2 社団法人大牟田市シルバー人材センター

### (1) シルバー人材センターの概要

#### <設 立>

法人格	社団法人
設立許可	昭和61年4月1日許可 昭和61年2月25日任意団体設立

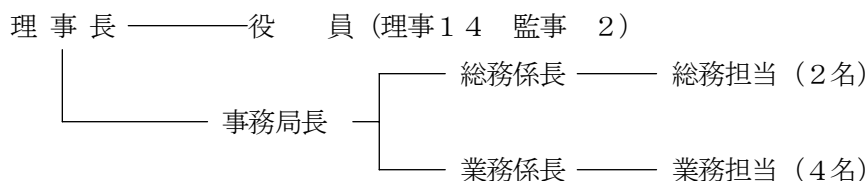
#### <目 的>

働く意欲と能力をもった高年齢者（60歳以上）に、生きがいづくりの場として臨時的かつ短期的なもの又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、組織的に提供することによって、高年齢者の能力の積極的な活用を図り、もってその福祉の増進に資するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

#### <事業内容>

- ① 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- ② 高年齢者の就業に関する調査研究
- ③ 高年齢者の就業に関する相談
- ④ 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く）を希望する高年齢者に対するこれらの就業機会の確保と組織的な提供
- ⑤ 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する高年齢者のための無料職業紹介事業
- ⑥ 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
- ⑦ その他高年齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に関し必要な業務及びセンターの目的を達成するために必要な事業の実施

#### <機 構>（平成19年3月31日現在）

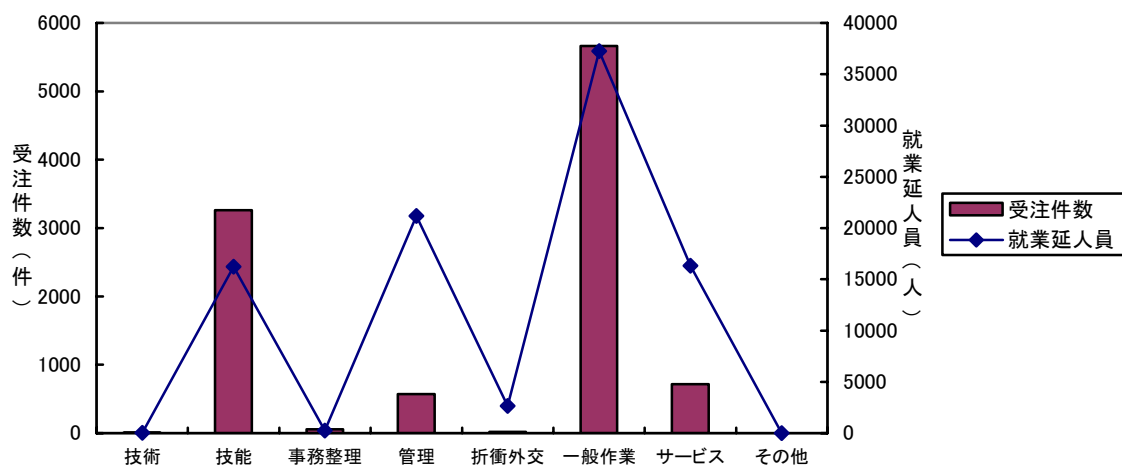




## (2) 平成18年度事業実績及び会員数

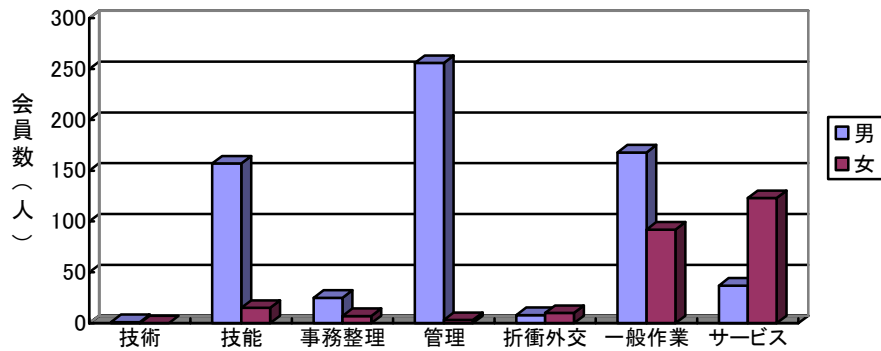
### ①事業実績（職種別）

区 分	受注件数	就業延人数	事 業 収 入	構 成 比
技 術	9	34	100,740	0.0%
技 能	3,260	16,213	76,386,643	25.6%
事務整理	56	240	349,588	0.1%
管 理	571	21,196	78,163,521	26.2%
折衝外交	18	2,663	5,001,935	1.7%
一般作業	5,664	37,245	99,906,738	33.5%
サービス	716	16,323	38,356,954	12.9%
そ の 他	0	0	0	0.0%
合 計	10,294	93,914	298,266,119	100%



### 会員数（希望職種別）

希望職種	男	女	計	構成比
技 術	1	0	1	0.1%
技 能	157	15	172	19.1%
事務整理	25	7	32	3.6%
管 理	256	3	259	28.7%
折衝外交	8	10	18	2.0%
一般作業	168	92	260	28.8%
サービス	37	123	160	17.7%
計	652	250	902	100.0%



### 1) 事業実績

厳しい経済環境の中、高齢者の知識、技能、経験を活かし、経費の節減を図りながら事業の執行に努めた  
が、前年度比 6.2%の減収となった。

### 2) 安全・適正就業対策

安全・適正就業対策委員会において就業中、途上に関する事故防止と安全確保、健康管理ならびに就業の  
適正化について検討。

就業現場への巡回指導を実施。特に、事故が発生した時点で、事故現場での検証を実施すると共に広く会  
員へ周知することで安全対策に対する意識の高揚と事故防止に努めた。

### 3) 高齢者生活援助サービス事業

本年度も引き続き、市からの委託事業として高年齢者を対象とした「軽度生活援助事業」に積極的に取り  
組み、女性会員の就業拡大に努めた。

### 4) 自主的な組織活動

職群班末組織の職種について協議を重ね、会員を中心に自主的な事業展開を図るための組織を設置した。

### 5) 地域への奉仕活動

地域への感謝の気持を込め、公園や公共施設の剪定、塗装や市内で開催されるイベントへの清掃奉仕活動  
等、積極的な取り組みを行った。

### 6) シニアワークプログラム事業講習会

高齢者の雇用・就業を促進することを目的とし、会員の技能・技術を高めるため、パソコン講習会を実施  
した。

### 3 社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会

根拠法令等	社会福祉法（第109条）	所管課	保健福祉総務課 地域福祉推進室
-------	--------------	-----	--------------------

#### (1) 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法に位置付けられ、住民の社会福祉に対する関心と理解を深め、地域における社会福祉の増進に努めるという目的理念のもとに、都道府県市町村の全国すみずみまで設立されている。民間組織としての「自主性」と住民や社会福祉関係者に支えられた「公共性」という2つの側面をあわせ持った組織で、地域住民による福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施等を行い、地域福祉活動の中心的な役割を担っている。

平成12年に社会福祉事業法が大幅に改正され社会福祉法となり、その第109条では、社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記された。

大牟田市社会福祉協議会は、昭和26年に任意団体として発足し、昭和47年に社会福祉法人の認可を受け、以来、大牟田市の地域福祉の推進役として住民のニーズにあった様々な事業活動を展開している。

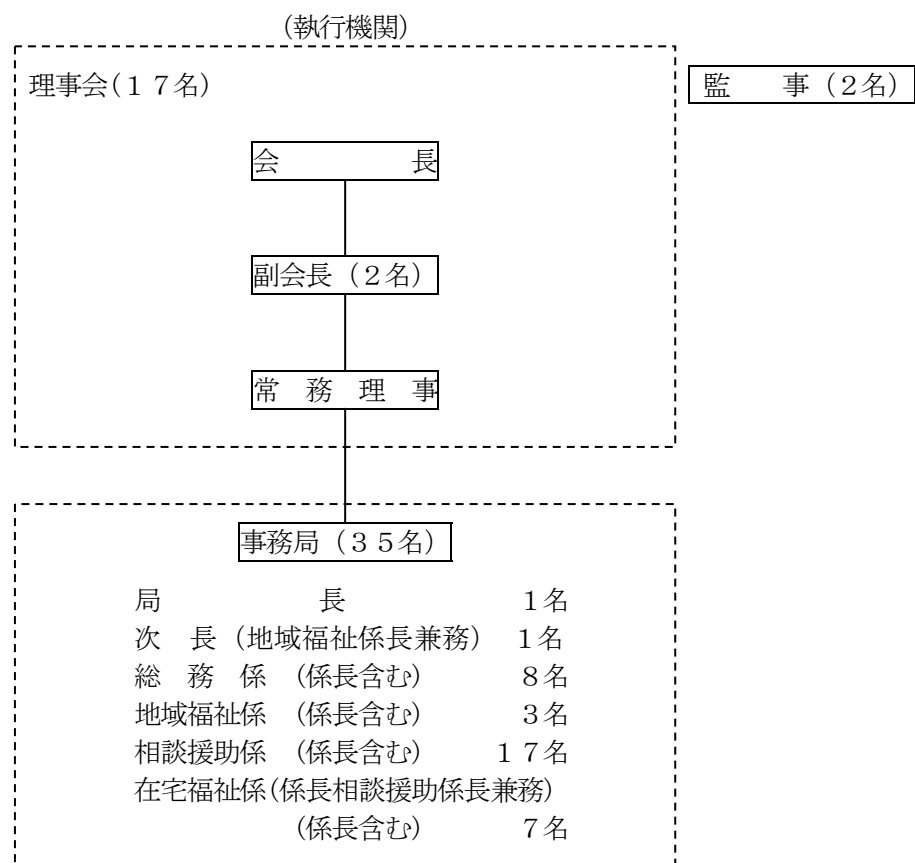
現在は、「地域福祉と住民参加」をキーワードに、地域における様々な生活上の諸問題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図る心ふれあう「誰もが安心して暮すことができるまちづくり」を目指し、校区社会福祉協議会とともに、見守り・相談・援助活動やボランティア派遣など様々な地域福祉活動に取り組んでいる。

#### (2) 社会福祉協議会の機構と組織構成

(平成19年4月1日現在)

評議員会（39名）（議決機関）

区分	所 属 名	評議員	理 事
1	校区社会福祉協議会代表	18名	5名
2	民生委員・児童委員代表	3	2
3	町内公民館連絡協議会代表	1	1
4	女 性 代 表	0	1
5	社会福祉事業施設代表	2	1
6	福 祉 団 体 代 表	3	1
7	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 代 表	2	1
8	社会福祉関係公務員代表	2	1
9	市 議 会 代 表	2	2
10	学 識 経 験 者	6	2
合 計		39名	17名



### (3) 社会福祉協議会の実施事業

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる」まちづくりを理念として策定した、大牟田市地域福祉活動計画の2年目に当たる18年度も、この計画に沿って、地域福祉活動の推進などを軸に取り組んだ。

活動指針1「住民参加による地域福祉活動の活性化」については、多様な福祉課題への迅速な対応として、福祉委員制度の導入、福祉委員研修制度及び活動の報告会開催による小地域ネットワーク活動の推進強化並びにサロン事業の推進、福祉座談会及び住民こんだん会の開催など、地域を基盤とした福祉活動の支援や福祉教育の推進に取り組んだ。

活動指針2の「心温まる福祉サービスの提供」については、高齢者、障害(児)者、児童・母子に対する諸事業や住民の悩みなどを解決に導く総合相談事業、低所得者に対する貸付事業等に取り組んだ。なかでも高齢者福祉対策事業では、介護保険制度の改正により市に設置された地域包括支援センターのサブセンターとして介護予防・相談センターの委託を受け、介護予防プランの作成をはじめ、高齢者の相談・調査業務に取り組んだ。また、児童福祉対策事業の学童保育所の運営については、市において指定管理者制度が本格的に導入され、本会では、公募により大牟田学童保育所について5年間の指定管理者となった。さらに、ファミリー・サポート・センター運営事業については、「フレンズピアおおむた」に移転し、市が開設したつどいの広場との連携により、総合的な子育て支援の拠点として事業を展開した。

活動指針3「本会の基盤強化」については、自主財源確保のために賛助会員の拡大や事業安定資金の活用により、若干の増収につなげることができた。また、大牟田市立総合病院ショップの店舗を改装し、サービス向上を図るとともに、ファイリングシステムの導入や事務のOA化の推進により効率的な業務遂行に努めた。

#### 1) 地域福祉の推進

##### ①福祉委員制度と小地域ネットワーク活動の強化

小地域ネットワーク活動の推進役として福祉委員(365人)を委嘱し、市内全域に福祉活動が行き渡るような福祉ネットワーク体制づくりに取り組んだ。また、福祉委員の任務や活動内容について計10回の研修を行った。

## ②校区社会福祉協議会の支援

校区社会福祉協議会に対して、地域福祉活動の支援や情報交換を行った。

### ・校区社会福祉協議会会長連絡協議会の支援

各校区社会福祉協議会相互の連携と、地域福祉課題の解決と情報交換を目的として、年6回実施される連絡協議会を支援した。

### ・先進地区社協研修視察

校区社会福祉協議会における福祉活動の取組みに反映させることを目的として、先進地区の視察を実施した。

実施日 : 11月1日(水)～2日(木) 参加者 : 22人  
研修先 : 朝倉市社会福祉協議会杷木支所・日田市光岡地区生きがいデイサービス  
内容 : 杷木地区における「サロン」活動の取組みについて、  
光岡地区生きがいデイサービスの見学

## ③サロン事業の推進

地域住民同士の仲間づくり・生きがいづくり・閉じこもりの防止等を目的として、構えず・気楽に集まれる場所づくりを推進した。また、サロンの登録制度を設け活動助成や情報提供を行った。

登録サロン数 : 16グループ

## ④ふれあい にこにこ サロン ボランティア養成講座

サロンの担い手としての知識を身につけ、地域で活動できるボランティアを養成した。

### ・講座実施状況

1回目	期 間 : 5月24日(水)～6月26日(月)、5回 会 場 : 吉野地区公民館 受講者 : 20人
2回目	期 間 : 7月20日(木)～8月24日(木)、5回 会 場 : 勝立地区公民館 受講者 : 18人
3回目	期 間 : 11月10日(金)～12月8日(金)、5回 会 場 : 手鎌地区公民館 受講者 : 14人

## ⑤地域支援ボランティア養成講座

ペットボトル等の身近なものをリサイクルし、日常生活において便利な物作りや、おもちゃ作りを通して、地域住民と子ども達が世代間交流を図ることにより、地域社会への理解と地域活動へのきっかけを見出すことを目的として実施した。

期 間 : 3月26日・27日(全2回)、午前10時～午後2時30分  
会 場 : 総合福祉センター 受講者 : 延べ47人

## ⑥地域で取り組む福祉教育推進モデル事業(県社協助成事業)

県社協のモデル事業として指定を受け(平成16～18年)、地域・学校・社会福祉施設等との連携を図るとともに、世代間交流事業や情報発信を行った。

モデル校区指定 : 銀水校区社会福祉協議会 情報発信 : 社協だよりに掲載

## ⑦福祉座談会の実施

地域における困りごとや福祉課題について、校区社会福祉協議会とともに考え、情報共有や活動の相互理解を深めることを目的として実施した。なお、平成18年度は、福祉委員制度導入に伴い校区への説明会や小地域ネットワーク活動者会議等を行ったため、9校区での実施となった。

### ・福祉座談会の実施状況

月 日	校区	月 日	校区	月 日	校区
5月19日	手鎌	8月7日	上官	9月29日	白川
7月25日	三池	9月1日	諏訪	10月1日	明治
7月12日	天道	9月15日	銀水	2月18日	駛馬南

## ⑧住民こんだん会の実施

市内 23 校区の住民を対象として 1 校区を 2～3 分割し、福祉委員制度や小地域ネットワーク活動についての啓発、隣近所のかかわりや生活課題等についての意見交換を行いながら、地域福祉活動への理解を求めた。

- ・住民こんだん会の実施状況

校区	回数	概要
駛馬南	2 回	日時：10 月 7 日（土）・10 日（火） 会場：駛馬地区公民館・藤田町公民館
上 内	1 回	日時：11 月 6 日（月） 会場：上内小学校
倉 永	2 回	日時：12 月 7 日（月）・15 日（金） 会場：倉永小学校・新道公民館
中 友	2 回	日時：1 月 17 日（水）・24 日（金） 会場：中友小学校・新地南公民館
大 正	2 回	日時：2 月 16 日（金）・20 日（火） 会場：大正小学校
天 道	1 回	日時：3 月 25 日（日） 会場：月見ヶ丘団地内 個人宅

## ⑨災害見舞金の支給

法外援護事業として、災害等の被災者に災害見舞金を支給した。なお、平成 18 年度は見舞金要綱の一部を改正し、支給額を引き上げた。

- ・災害見舞金の支給状況

	16 年度	17 年度	18 年度
件 数	12	10	23
支 給 額	60,000	50,000	230,000

## ⑩校区社協・校区連協・校区民児協会長合同研修会

校区社協会長・校区連協会長・校区民児協会長合同研修会を開催し、お互いの連携を図った。

実施日：8 月 29 日（火） 会 場：総合福祉センター 参加者：64 人

内 容：地域のリーダーとは ～地域リーダーの連携について～

手鎌校区における小地域ネットワーク活動について

笹原校区地域福祉活動実施計画「ささはら“住みよか”プラン」の取り組みについて

## ⑪活動助成

地域福祉の向上を図る次の団体等に対して助成を行った。

- ・23 校区社会福祉協議会
- ・大牟田市校区社会福祉協議会会長連絡協議会
- ・大牟田市民生委員・児童委員協議会

## 2) ボランティアセンター事業の実施

### ①コーディネート機能の強化（ボランティアの登録・斡旋）

ボランティアが自分の希望する活動を選択できるよう、登録・斡旋に努めた。

- ・ボランティアセンター登録状況

区分	16 年度		17 年度		18 年度	
	件数	前年比 (%)	件数	前年比 (%)	件数	前年比 (%)
グループ（団体）	52	98.1	54	103.8	57	105.5
個人（人）	287	111.7	322	112.2	351	109.0

・ボランティア幹旋状況

	主 な 幹 旋 内 容	17年度 件数	18年度 件数
個人	散髪、家屋内外の小修理、外出支援等	48	53
団体	散髪、デイサービスでの催事、学童での催事、各種イベント等	102	195
学校	障害者との交流、手話・点字の学習、車いす・アイマスク・高齢者疑似体験	71	55

②福祉教育の推進

小・中学校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動と地域福祉活動への参加促進を図った。

・福祉教育推進校の指定及び育成

児童・生徒の福祉教育の推進を目的として、中学校11校、小学校23校を福祉教育推進校に指定し、視覚・聴覚障害者の人などを講師（ゲストティーチャー）として派遣した。

・派遣状況

	16年度	前年比 (%)	17年度	前年比 (%)	18年度	前年比 (%)
派遣件数	70	84.3	71	101.4	55	77.5

・福祉教育推進校連絡会の開催

福祉教育推進校が相互の連携を図るとともに、研修や情報交換を行うため、連絡会を開催した。

③各種ボランティア養成講座実施状況

講 座 名	概 要
精神保健福祉 ボランティア養成講座	期 間：10月25日（水）・31日（火）、11月8日（水）・13（月） ・22日（水）・29日（水） 6回 受講者：23人 会 場：総合福祉センター及び精神障害者福祉施設
福祉学習指導者養成講座 （フォローアップ編）	期 間：9月12日（火）、13日（水） 2回 受講者：10人 会 場：総合福祉センター

④ボランティア活動保険の加入状況

	16年度	前年比 (%)	17年度	前年比 (%)	18年度	前年比 (%)
加入者数	2,990	96.6	2,675	89.5	2,929	109.5

⑤ボランティア活動啓発及び情報提供

ボランティア活動の活性化を図るために、ボランティアセンターの役割や活動の内容等を掲載したパンフレットの配布や社協だより等により、ボランティア活動の情報の提供や啓発に努めた。

⑥ボランティア団体活動助成

ボランティア活動を推進するため、大牟田市ボランティア連絡協議会や構成グループ等に対し助成を行った。

3) 総合相談事業の実施

①地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助相談）

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分なため日常生活に困っている人に対して、生活支援員を派遣し、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行った。

	16年度	17年度	18年度
人 数	10	12	15
件 数	115	168	186

## ②心配ごと相談

毎週火曜日に面接及び電話による心配ごと相談事業を実施し、地域住民の生活上の相談に応じた。

	16年度	17年度	18年度
面接件数	111	78	41
電話件数	82	65	45

## ③法律相談

毎月第3水曜日に弁護士による法律相談事業を実施し、複雑多様化する住民の相談に応じた。

	16年度	17年度	18年度
件 数	142	144	119

## 4) 高齢者福祉対策の推進

### ①介護保険事業

介護保険事業については、訪問介護事業（ホームヘルプサービス）・訪問入浴介護事業（入浴サービス）・居宅介護支援事業（ケアプラン作成）を実施した。

- ・ 事業実績、件数

	16年度	前年比 (%)	17年度	前年比 (%)	18年度	前年比 (%)
訪問介護	11,755	86.2	10,634	90.5	9,449	88.8
訪問入浴介護	584	76.0	420	71.9	528	125.7
居宅介護支援	1,258	98.2	1,171	93.1	836	71.4

### ②介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

介護保険制度の大幅な見直しを受け、地域包括支援センターのサブセンターとして、上官・平原校区を担当し、介護認定により要支援と認定された高齢者及び配食サービス等の保健福祉サービス利用希望者等に対して、介護予防プランを作成（229件）し、定期的にモニタリングを行うことにより高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を関係機関、サービス実施事業者等と連携して実施した。

### ③在宅介護者の会の活動支援

在宅介護者に対する情報提供、介護負担の軽減、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」（会員数25人）の活動支援を行った。

- ・ 定例会及び介護相談の開催（月1回）
- ・ リフレッシュ事業（年2回）

### ④福祉機器貸与事業（特殊寝台・車イス）

在宅の要介護高齢者などに対して、特殊寝台などを無料又は低額で貸与することにより、日常生活の便宜と介護者の負担の軽減を図った。

### ⑤福祉団体活動助成

高齢者の福祉の増進を目的とする大牟田市老人クラブ連合会に対して助成した。

## 5) 障害（児）者対策の推進

### ①障害者社会参加促進事業（市受託事業）

障害者の自立と社会参加の促進を図るため、手話、朗読、点訳、要約筆記の各奉仕員養成講座の実



施や、手話奉仕員、要約筆記奉仕員を派遣した。なかでも18年度は要約筆記奉仕員養成講座において、初めてパソコンを使用した講座を開催した。

・ 奉仕員養成講座の実施状況

講座名		概要
手話奉仕員 養成講座	入門	期間：6月1日～11月2日（毎週木曜日）、22回 会場：総合福祉センター 受講者：25人
	基礎	期間：7月8日～11月11日（第2、4土曜日）、18回 会場：総合福祉センター 受講者：21人
朗読奉仕員 養成講座		期間：6月7日～8月9日（毎週水曜日）、10回 会場：総合福祉センター 受講者：13人
点訳奉仕員 養成講座		期間：5月19日～7月21日（毎週金曜日）、10回 会場：総合福祉センター 受講者：10人
要約筆記奉仕員 養成講座	基礎	期間：7月29日～10月21日（毎週土曜日）、11回 会場：総合福祉センター 受講者：14人
	応用	期間：1月3日～3月3日（毎週土曜日）、7回 会場：総合福祉センター 受講者：19人

・ 養成講座の修了状況

講座名		16年度	17年度	18年度
手話	受講者	32	48	46
	修了者	24	35	35
	入会者	22	13	18
朗読	受講者	20	18	12
	修了者	17	15	10
	入会者	10	6	8
点訳	受講者	9	6	11
	修了者	7	3	10
	入会者	4	1	4
要約筆記	受講者	9	7	33
	修了者	4	3	28
	入会者	4	3	11

・ 手話・要約筆記奉仕員派遣事業

聴覚障害者の社会参加を促進するために、障害者体育大会、福祉活動、文化活動、通院等に手話奉仕員、要約筆記奉仕員を派遣した。

・ 派遣状況

派遣内容		16年度	前年比 (%)	17年度	前年比 (%)	18年度	前年比 (%)
手話	派遣件数	272	115.7	226	83.1	226	100.0
	奉仕員数	380	113.1	281	74.0	282	100.3
要約	派遣件数	26	92.9	9	34.6	9	100.0
	奉仕員数	86	114.7	21	24.4	21	100.0

・ 点字・声の広報発行

視覚障害者が地域生活をするうえで必要な情報などを点訳（点訳奉仕大牟田むつき会）、音訳（大牟田朗読の会）の方法により、定期的に提供した。

②障害者自立支援費サービス事業

障害者自立支援法の施行を受け、在宅の身体・知的障害者に対して、ホームヘルプサービスやガイドヘルプサービスを実施した。

・事業実績

	16年度	前年比(%)	17年度	前年比(%)	18年度	前年比(%)
ホームヘルプ派遣数	1,076	203.6	1,662	148.0	1,676	100.8
ガイドヘルプ派遣数	1,074	94.5	1,124	104.7	770	68.5

### ③入浴サービス事業（市受託事業）

在宅の重度障害者に対して、市の委託を受け実施した。

・事業実績

	16年度	前年比(%)	17年度	前年比(%)	18年度	前年比(%)
入浴サービス	185	107.6	180	97.3	160	88.9

### ④福祉機器貸与事業

在宅の障害者などに対して、特殊寝台などを無料又は低額で貸与することにより、日常生活の便宜と介護者の負担の軽減を図った。

### ⑤大牟田夏祭り「一万人の総踊り」参加事業

障害者の社会参加促進の一環として、障害者団体を始めボランティアや関係団体等に呼びかけ、471人が参加した。

・参加状況

	16年度	前年比(%)	17年度	前年比(%)	18年度	前年比(%)
参加者数	517	114.9	466	90.1	471	101.1

## 6) 児童・母子福祉対策の推進

### ①放課後児童健全育成事業（学童保育所・指定管理運営）

放課後児童対策として、昼間児童の養育ができない家庭などの児童（小学校1年生～概ね小学校3年生）に対して、適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図った。

・入所児童数（平成19年3月31日現在）

学童名	児童数	学童名	児童数	学童名	児童数
三池	36	中友	44	白川	36
高取	28	三川	32	大牟田	33

### ②ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

子育てのお手伝いをしたい人（協力会員）と子育ての手助けしてほしい人（利用会員）との相互援助活動を行った。

・協力会員養成講座の開催

第1回	6月5日（月）～6月14日（水）5日間、8人の登録
第2回	11月9日（木）～11月20日（月）5日間、6人の登録

・会員数

	16年度	前年比(%)	17年度	前年比(%)	18年度	前年比(%)
利用会員	368	181.3	532	144.6	652	122
協力会員	92	119.5	104	113.0	107	102
利用・協力会員	66	126.9	66	100.0	66	100
合計	526	158.4	702	133.5	825	117

・活動状況

内 容	17 年度件数	18 年度件数
保育所・幼稚園・学校・学童の登園登所前の預かり及び送り	149	80
保育所・幼稚園・学校・学童の迎え及び帰宅後の預かり	523	508
子どもの病気時の援助	53	18
子どもの習い事等の場合の援助	368	483
保育所・学校等休み時の援助	25	17
保護者等の短時間・臨時的就労・求職活動中の援助	58	25
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	14	9
保護者等の外出の場合の援助	79	70
保護者の病気、その他急用の場合の援助	44	15
その他		9
合 計	1,313	1,234

③福祉団体活動助成

母子寡婦の福祉向上を目的とする大牟田市母子寡婦福祉会に対して助成した。

7) 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）

低所得者、高齢者及び障害者等の世帯に対して、各種資金の貸付業務を行った。

・貸付状況

(単位:千円)

	16 年度		17 年度		18 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
更 生			1	967		
福 祉	2	3,480	1	300	1	1,109
住 宅						
修 学	16	16,440	13	18,340	8	17,883
災 害	2	125				
療 養			1	375		
離職者支援	2	3,000	1	600		
緊急小口	2	100	1	50	2	100
合 計	24	23,145	18	20,632	11	19,092

8) 市立総合病院ショップの運営

・事業実績

	16 年度	17 年度	18 年度	前年比(%)
売上金 (円)	76,041,654	73,029,968	72,729,586	99.6
客 数 (人)	207,853	193,394	189,462	98.0

9) 賛助会員制度の拡大

地域住民とともに地域福祉を推進していくため制度の改正を行い、周知と会員の拡大に努めた。

・会員数の推移

	16 年度	17 年度	18 年度	前年比(%)
会員数	333	303	410	135.3
金 額	399,000	369,000	605,000	164.0

## 10) 大牟田善意銀行への預託

・預託状況

(単位：円)

		16年度	17年度	18年度	前年比(%)
一般 寄付金	件数	539	572	567	99.1
	金額	9,988,711	11,389,441	11,119,918	97.6
指定 寄付金	件数	45	55	21	38.2
	金額	1,590,000	1,223,000	1,023,000	83.6
計	件数	584	626	588	93.9
	金額	11,578,711	12,612,441	12,142,918	96.3
物品寄贈件数		33	36	34	94.4

## 11) 共同募金運動の実施

赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい募金運動について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携しながら取り組んだ。

・募金実績

(単位：円)

	16年度	前年比(%)	17年度	前年比(%)	18年度	前年比(%)
赤い羽根共同募金	17,650,065	99.9	17,677,986	100.2	17,583,100	99.4
歳末たすけあい募金	3,448,946	87.0	3,510,291	101.8	3,334,042	94.9

## 12) ふれあい福祉まつりの実施

みんなにやさしい大牟田のまつりを創造していく契機の一つとして「ふれあい福祉まつり」を開催し、併せて社会福祉事業功労者を表彰した。

実施日：11月26日(日) 会場：大牟田市総合福祉センター 参加者：約500人

内容：式典(社会福祉事業功労者表彰他)

屋内行事(ボランティアグループ活動紹介展示、共同募金関係資料展示、ボランティアグループによる催しなど)

屋外行事(レストランコーナー・昔あそび)

・社会福祉事業功労者を表彰被表彰者

区分	表彰対象	推薦基準	人数
表彰 状	ア. 市社協役員・評議員	在任期間4期以上のもの	4
	イ. 校区社協における実践活動者	10年以上校区における地域福祉推進活動が特に顕著と認めるもの	33
	ウ. 優良校区社協	地域福祉活動が他の校区の模範となるもの	1
	エ. ボランティアセンター 登録者・団体	登録10年以上のもので、ボランティア活動が特に顕著と認めるもの	3
	オ. その他特に認めるもの		0
感謝 状	ア. 市社協役員・評議員	在任期間2期以上のもの	13
	イ. 校区社協における実践活動者	5年以上校区における地域福祉推進活動が顕著と認めるもの	50
	ウ. ボランティアセンター 登録者・団体	登録5年以上のもので、ボランティア活動が顕著と認めるもの	2
	エ. 市社協事業運営協力者	登録5年以上のもので、市社協事業に協力・貢献したもの	0
	オ. 善意銀行高額寄付者	10万円以上の金品寄贈者	4
	カ. その他特に認めるもの		2
計			112

### 13) 機関紙の発行

社協だよりを年4回(4月、7月、10月、1月)発行した。

### 14) 総合福祉センターの運営

・利用状況

	16年度	17年度	18年度	前年比(%)
会議室等利用件数	2,343	2,257	1,725	76.4
ヘルストロン利用者数	19,851	17,142	15,998	93.3
年間利用者数	53,657	51,348	43,760	85.2

### 15) 各種委員会の開催状況

- ・大牟田市地域福祉活動計画推進委員会 2回(6月16日、10月30日)
- ・表彰審査委員会 1回(10月12日)

### 16) その他

#### ①福祉基金の活用

福祉基金を有利に運用するため、5年国債を購入した。

#### ②パンフレットの作成

社協事業を広く周知するため、啓発用パンフレットを作成し配布した。

#### ③福祉バス・リフト付バスの運用

校区社会福祉協議会及び福祉団体等の活動の推進と利便を図るため、福祉バスを延べ88回運行した。

#### ④ファイリングシステムの導入

文書等の分類基準を作成し、その基準に従って整理、保管し、事務の効率化を図った。

#### ⑤役員研修会の実施

実施日 : 8月1日(火) 参加者 : 10人

内容 : 「市町村社協事業の現況と今後の方向性」

講師 久留米大学文学部教授 松尾誠治郎氏